

四賀地区 図書だより

令和7年6月1日号

発行 四賀公民館図書視聴覚委員会
(事務局 TEL 64-3112)



～『まつもと日和2』を観て～

視聴覚の話



図書視聴覚委員会として視聴覚もきちんと扱いたいということで、3月に『まつもと日和2』の上映会を行いました。一般の市民が保管していた8ミリフィルムを集めた映画で、仕上げるまでの多様な人々との関わりの物語も描かれています。ネタバレになってはいけないうので詳細は書きませんが、最後のエピソードでは「映像（動画）の持つ力」を思い知らされました。

8ミリフィルムというメディアはそれほど長い期間使われなかったと思いますが、一般の人が初めてパーソナルな動画を楽しむ手段を得た転機だったと思います。撮り直しは効かず、撮ったものがすぐ観られる訳でなく、現像して映写機にかけて...手間をかけて丁寧に楽しんだメディアであったと想像します。発展途上でありながら味わい深いメディアと感じました。

我々の世代はその後のアナログの磁気テープメディア。音声と同時に記録できて上書きができたりダビングで編集ができたり、とても便利になったと思いますが、今になってテープの劣化の危機にさらされています。デジタル化が進んだ現代になると、データとして保存は小さな半導体の中。ライブで瞬時に世界中に発信できる信じられないような時代。

数十年の間に目まぐるしく変化し進化したパーソナルな映像メディアですが、記録や記憶を大切にすることは変わらずにいたいものです。



今年もやります！



・・・『まつもと日和』 上映会・・・

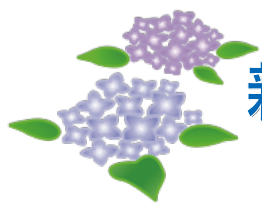
6月29日(日) 1回目 10:00 2回目 14:00

料金 1,000円 (高校生以下無料)

松本市民から集められた昭和の8mmフィルムを基に、世代を超えた多くの市民が関わって作り上げた地域映画の第1弾。
懐かしい...だけではない何かが見つかるかもしれません。

図書室の利用案内

- 利用時間 平日 午前10時～午後6時 土曜日・祝日 午前10時～午後5時
休館日 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は火曜日、月曜日から祝日が続く場合は直後の平日)
12月29日～1月3日 (年末年始の休館)
貸出期間 2週間以内 貸出冊数 5冊 (うち新刊は2冊まで)
その他 ・貸出には利用登録カードが必要です 無料で作れます
(マイナポータルカード・免許証・保険証など本人確認できるものをお持ちください)
・カードは小さな子どもさんでも保護者の確認で作ることができます
・返却は公民館窓口でも受け付けます 松本市内図書館で借りた本の返却も受け付けます
・松本市図書館の利用登録をしていると 予約した図書の受け取りもできます



新着図書・おすすめ図書のご案内

新着図書

児童書

『どうぶつたいじゅうそくてい』 聞かせ屋。けいたろう 文
『しごとば』(シリーズ) 鈴木 のりたけ 作
『りんご畑の12か月』 松本 猛 文
『ノラネコぐんだんおりがみパンやさん』 いしばし なおこ 作

一般書

『C線上のアリア』 湊 かなえ 著
『星の教室』 高田 郁 著
『月収』 原田 ひ香 著
『追跡』 伊岡 瞬 著
『ザイム真理教』 森永 卓郎 著
『楽園の楽園』 伊坂 幸太郎 編



おすすめ本

『ひまわり』 新川 帆立 著

突然の交通事故に遭い、頸椎を損傷してしまった「ひまり」。意識は明瞭だが身体は動かない。過酷なりハビリを続けるも復職は叶わず、一念発起して弁護士を目指す。鉛筆も握れず、六法全書も開けない「ひまり」が…ついに司法試験を突破！実際に弁護士資格を持つ著者ならではの視点で描く、不屈の魂が輝く珠玉の物語。

夜明けを待つ 佐々 涼子



『夜明けを待つ』 佐々 涼子 著

前半はエッセイ、後半はルポルタージュ。読む人の心を揺さぶる作品の原点は、佐々涼子の人生そのものにある。生と死の間を駆け回り、人を想い世界を考えて行動する姿が本の中にあり続け、私達に「生きていくこと」の意味を示唆してくれる“希望の書”。一人でも多くの方に手に取って読んでいただきたい本。(著者自身、悪性の脳腫瘍と向き合い、昨年亡くなりました)

『対談集 らら星のかなた』 谷川俊太郎・伊藤比呂美 著

「鉄腕アトム」の主題歌「らら星のかなた…」は昨年亡くなった谷川さんの作詞とご存知でしょうか？ それがこの本のタイトルです。

二人の詩人、谷川さん(90代)と伊藤さん(60代)との対談集“ここだけの話”。谷川さんに「怖くないですか？死ぬの」としつこい位に聞く伊藤。「…怖くはないよ。むしろ楽しみがある…」と鬼才の谷川。90歳を過ぎた谷川さんは変わらずクールでお茶目。「詩とことば」「老いは進化する」など々、二人のやり取りが軽妙で洒脱で、深い。



編集後記

ゲームといえばカードゲーム。昭和世代の私は、姉妹でトランプばかりしていた。スピード、七並べ、神経衰弱……。人数が集まると、ダウトが盛り上がった。「疑う」という意味の騙し合いゲーム。嘘か本当か、本当か嘘か？？？令和のトランプは、ゲームか仕事か、冗談かマジか？ 関税という名のカード、どう考えますか……。